

東日本大震災の被災地を訪れて

岩見 穰

8月の末に東日本大震災の被災地(宮城県気仙沼市と南三陸町)を訪れる機会に恵まれた。なんととも震度9の大地震に見舞われた地区の様子をこの目で見たい、確認したいと思ったからだ。

まず、宮城県気仙沼市に入った。全国有数の漁港として有名な港町だ。被災しなかった市街地はいつもの市街地であったが、海が近づくにつれ、建物の1、2階部分の被害が目立ち始め、建物の柱の部分だけが残っている建物も見られた。さらに進むと建物はなくなり、あちこちが更地になっていた。駐車場跡と思われる場所の基礎のコンクリートだけが残っていたり、道路跡が残っているだけの地域が現れた。その一方、復興工事も進んでおり、あちこちで工事が行われていたり、工事の車両が行き交っていた。そのような中、夢中でカメラのシャッターを切ったが、写真を撮る行為にためらいを感じざるを得なかった。

次に行ったのが、南三陸町であった。気仙沼から南下し、リアス式海岸の代表的な場所だ。この地は、マスコミにたびたび取り上げられた場所で、今も被災地の様子として出ることがある。南三陸町は大きく「志津川」地区と「戸倉」地区に分かれる。まず、志津川地区に入ったが、目の前に広がる光景に改めて圧倒される思いがした。大量のがれきの山、自動車や船の残骸の山、立ち枯れした樹木、かろうじて残ったビルの鉄骨など息をのむ光景の連続である。大津波のすさまじい力を思い知らされた。かつてこれらの地は市街地があり普通のにぎやかな生活が送られていたところである。

町の中心部に行くと、防災対策庁舎があった。その隣には町役場の庁舎があったそうである。現在は、防災対策庁舎の建物の鉄骨部分だけが残っていた。ここはかつて町の防災情報の発信基地であった。当時52人が勤務中で屋上(10m)に逃げたが、屋上にも水が来て42人が犠牲となったそうである。この建物の残骸を見ただけでも「大津波」の恐ろしさ、すさまじさを感じざるを得なかった。

今回の訪れで感じたことは、大津波での生と死を分けたのは、防災に関する意識をどれだけそこに住んでいる住民みんなが常日頃、現実即して、真剣に準備していたかどうかである。ぜひ、教育に携わる者の一人として肝に銘じたい。

(いわみ みのる/筑西市立村田小学校長)

※タイトル文字は滝平二郎

12月の予定

●おはなし会 午後2時から児童室

12月 9日(日)
『かいじゅうたちのいるところ』
『ねずみくんのクリスマス』

12月16日(日)
『ねこのシジミ』
『くーすけのクリスマス』



●ブックスタートクラブ クリスマス会

更生保護女性会明野支部の方と、クリスマス会を行います。

日時：12月5日(水) 午前10時～正午まで

会場：明野図書館 視聴覚室

内容：劇、ゲーム、紙芝居 ほか

●明野図書館休館のお知らせ

11月7日(水)～21日(水)まで蔵書点検のため休館いたします。

ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。なお、休館中に返却される人は図書館入口の返却ポストをご利用ください。視聴覚資料につきましては、破損防止のため、開館後にカウンターにお返しください。

図書館カレンダー

12月 DEC						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

【開館時間】
午前10時から
午後6時まで

■は休みです。

1月 JAN						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

ーくらしに生かそうみんなの図書館ー 明野図書館 TEL:0296-52-2466

花さき山のホームページアドレスは、

<http://library.city.chikusei.lg.jp/hanasakiyama/index.html> です。